



題字は、毛利三十二代毛利元道氏書

百万一心

第 42 号
発行

平成18年6月11日
山口市神田町 1-80
防長青年会館

BoyScout山口県連盟
TEL:083-928-0079
bsymg@ymg.urban.ne.jp

「ぼくたちしっかりお手伝いしてま〜す！」遠石八幡宮秋の大祭準備に大活躍のスカウトたち

ボーイスカウト運動は、大自然の中で年齢の異なる子どもたちが、仲間同士互いに助け合い励まし合いながら子どもたちの冒険心をかき立てる楽しいキャンプやハイキングなどさまざまな体験を通して自ら成長することを目標としています



Scout Association of Japan

Yamaguchi Scout Council



元気いっぱい…潮干狩り

下松第1団カブ隊

「こんなにいっぱいとれたよ！」
スカウトたちの元気な声が返ってきました。…沢山の獲物に満足げ！

第2地区スカウト展「作ってみよう 遊んでみよう」 “周南ツリー祭りで「スカウト展」を開催”



12月24日周南市青空公園で周南市ツリー祭りの協賛行事として「第2地区スカウト展」を開催。みぞれ混じりの雨の中訪れた参加者と「作ってみよう、遊んでみよう」で準備した団栗独楽、竹剣玉などを楽しんだ。



ボランティア活動「体験交流スタディズ」 岩国地区ボーイスカウト・ガールスカウト

2006年2月5日に、平成17年度子ども夢基金助成事業ボランティア活動「体験交流スタディズ」を岩国地区のボーイスカウト、ガールスカウトが参加して開催。参加したスカウトたちは、環境学習・子育て体験など、日頃できない貴重な体験を通して他人を思いやる心などを学んだ。



Scout Association of Japan

Yamaguchi Scout Council



会場は能登半島先端の珠洲市

14N Jが開催されるのは、能登半島の先端珠洲市「りふれっしゅ村鉢ヶ崎」と周辺の地域を会場として8月3日～8日の会期で開催されます。

山口県連盟からの参加概要

山口県連盟からは、第14回日本ジャンボリー(14N J)へ、参加隊5隊200人、ベンチャー奉仕隊10人、県連派遣団本部4人、SHQ奉仕要員8人、JHQ奉仕要員3人の総員225人を派遣する。

参加隊5隊の編成は次のとおり

- ◇ 第1隊 (岡本隊長)
第1地区全団、下松第4団
- ◇ 第2隊 (弘中隊長)
下松第5団、光第2団
- ◇ 第3隊 (田嶋隊長)
防府第2・4・5・8団、光第2団
下松第1・4団、徳山第1・4団
- ◇ 第4隊 (上村隊長)
秋穂第1団、山口第3団、宇部第15団
山陽第1団、美祢第1団
- ◇ 第5隊 (鶴永隊長)
下関第6・7・11団、宇部第11団
小野田第1団

14th NIPPOON JAMBOREE

日本ジャンボリーって？

「日本ジャンボリー」は、1949年(昭和24年)より始まった「全日本ボーイスカウト大会」の第4回大会を改称して「第1回日本ジャンボリー」として開催され、世界13カ国と日本の1都2府42県のボーイスカウト13,000名が参加して、1956年8月3日から8月7日まで5日間、少年団日本連盟発足以来三十余年の大会を浅間山の麓に繰り広げ、以後4年を周期に開催される我が国最大の国際野営大会です。

開催テーマ「風の不思議を突っ走れ！」

能登では、古く万葉の時代より海から吹く風を「東風」(あいの風)と呼び、この風に乗って大陸の文化や人々を珠洲の地に運んできたと言われており、古来よりこの風が能登の豊かな風土を育み、独自の文化を育ててきた。

第14回日本ジャンボリーでは、この「あいの風」の吹く能登の地において、豊かな自然と文化に触れ、世界のスカウトたちと共に手を結び「世界のスカウト運動100周年」を迎える大会として開催される。





▲ ジャンボリー会場で山口県連盟参加隊が生活する8SCのサイトMAPです。
(山口県連盟参加隊のサイトは抽選により8SC東南部のサイト番号38～42に決定)



▲ 第2隊：下松第5団のスカウトたち



▲ 第1隊

ジャンボリー参加隊
事前訓練描写

日本ジャンボリー開催年表

回数	開催年	開催場所	参加人員
第1回	1956年(昭和31年)	長野県 軽井沢	13,000人
第2回	1959年(昭和34年)	滋賀県 あいば野	17,000人
第3回	1962年(昭和37年)	静岡県 御殿場	26,000人
第4回	1966年(昭和41年)	岡山県 日本原	30,000人
第5回	1970年(昭和45年)	静岡県 朝露高原	32,600人
第6回	1974年(昭和49年)	北海道 千歳原	26,700人
第7回	1978年(昭和53年)	静岡県 御殿場	26,270人
第8回	1982年(昭和57年)	宮城県 南蔵王	30,144人
第9回	1986年(昭和61年)	宮城県 南蔵王	30,173人
第10回	1990年(平成2年)	新潟県 妙高高原	30,972人
第11回	1994年(平成6年)	大分県 久住高原	30,914人
第12回	1998年(平成10年)	秋田県 森吉山麓高原	26,740人
第13回	2002年(平成14年)	大阪市 舞洲Sportsisland	20,588人
第14回	2006年(平成18年)	石川県 珠洲市	22,000人
第15回	2010年(平成22年)	静岡県 御殿場(予定)	



▲ 第5隊

15NJ目指して組織拡充!

次の第15回日本ジャンボリー(15NJ)は、2010年に静岡県御殿場で開催されます。

15NJへ参加できるのは、今のカブスカウト及び小学1年生のビーバースカウトです。参加人数の割り当ては、15NJ開催前年3月末のボーイ隊在籍者の人数で決められる。

次を目指して組織拡充を!

スカウト君

作：おだゆきな



ボーイスカウト山口県連盟 平成18年度年次総会を開催 平成18年6月11日 萩市「サンライズ萩」

平成18年度山口県連盟年次総会を、萩市のサンライフ萩を会場に6月11日(日)に開催。県連年次総会では、前年度事業報告・収支決算報告、新年度事業計画案・収支予算案・県連盟組織改革に伴う県連盟規約の改定等を審議。

また、議案審議に先立ちボーイスカウト運動に貢献された功績を讃えて、県連盟表彰(県連有功章、組織拡大顕彰)及び日本連盟表彰伝達(かっこう章、特別年功章、隊褒章綴)を挙行。

菊スカウト誕生!

下関11団ボーイ隊

ボーイ隊に上進後こつこつと努力を重ねた下関第11団ボーイ隊の成本嘉世子さんがこの度菊章に進級しました。団をあげての弥栄の中、成本さんに今の気持ちを聞いてみました。

菊章の授与を受けての感想は?

「菊章に進級するまで、とても長かったような気がします。マスターバッジの修得がとても大変だったけど、両親や指導者の方々の協力があった進級できて87号の承認番号をいただいてとてもうれしいです。」

第14回日本ジャンボリーにも参加しますが、意気込みを聞かせてください。
「班長として、けがのないよう



に、安全に楽しくジャンボリー生活を送りたいです。あと、流れ星が見たいです。」

これからのスカウト活動に向けての抱負をお願いします。

「これからももっと技能を磨いていきたいです。みんなの手下になって、菊章に恥ずかしくない活動をしていきたい。これからも隊から菊スカウトがでるといいな。」と、笑顔で元気よく、そして力強く答えてくれた成本さんでした。
弥栄!



第119回指導者講習会 西部地区で開催

4月9日山陽小野田市埴生公民館を会場に第119回指導者講習が友田主任講師により開催された。当日の受講者は県内全域から集まった9人。

次回の第120回指導者講習会は、9月10日に第2地区で開催される予定となっている。

第1回指導者定型外訓練 マキで楽しむ野外炊飯

平成18年度第1回定型外訓練を光市野外活動センター「周防の森ロッジ」を会場に、5月3日～4日に開催。

今回のコースは「マキで楽しむ野外炊飯」第14回日本ジャンボリーに参加する指導者など36人が参加。

薪ストーブを使っの野外炊事、立ちかまどで美味しい珈琲を、火起こしゲームに挑戦など、14NJ会場での薪燃料による炊事に向けた実戦的な内容での研修となった。なお、この定型外訓練に併せて14NJ実行委員会を開催した。



山口県連盟事務局 mailアドレス: bsymg@ymg.urban.ne.jp
山口県連盟HP <http://www.ymg.urban.ne.jp/home/bsymg/>

平成18年5月31日現在加盟員 スカウト 882人 リーダー 335人 団委員 213人 総員 (1,430人)

Yamaguchi Scout Council, SAJ

ボーイスカウト

ボーイスカウトの教室は野外です。
野外活動を通して、自然を学び
自然の中で友情や協調の
精神をはぐくみます。

ボーイスカウトへは
幼稚園の年長さん9月以後
いつでも入れます



日本ボーイスカウト山口県連盟
事務局 (TEL) 083-928-0079 (FAX) 083-923-8623